

病理医のための小児がん病理診断研修プログラムの御案内

目的: 小児がん診療における病理診断の役割・重要性を理解し、専門的な知識および技術の基礎部門を修得する。

対象: 後期研修医、大学院生(成人の病理診断研修を1年以上経験した方)、および病理専門医(サブスペシャリティー研修)

期間: 3ヶ月、6ヶ月、1年

特徴: 当科では小児血液・固形腫瘍の中央診断施設として全国から年間500例以上の症例をリアルタイムに経験することができます。

豊富な過去の症例アーカイブを実際にみたり、さまざまな小児がん関連カンファレンスに参加することにより、稀少な小児腫瘍について短期間で効率的な研修を行うことができます。

希望があれば、小児がんの分子診断についても研修が可能です。

研修責任者・問い合わせ先: 中澤温子(病理診断部長)

メールアドレス: patho@ncchd.go.jp ホームページ: <http://www.ncchd.go.jp/hospital/section/clinical/byouri.html>

病理医のための小児がん病理診断研修プログラム(3ヶ月研修の場合)

	1か月目				2か月目				3か月目			
	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目
腫瘍系カンファレンス(参加・所見提示)		脳脊髄腫瘍カンファレンス 固形腫瘍カンファレンス		脳脊髄腫瘍カンファレンス 固形腫瘍カンファレンス		脳脊髄腫瘍カンファレンス 固形腫瘍カンファレンス		脳脊髄腫瘍カンファレンス 固形腫瘍カンファレンス		脳脊髄腫瘍カンファレンス 固形腫瘍カンファレンス		脳脊髄腫瘍カンファレンス 固形腫瘍カンファレンス
	血液腫瘍カンファレンス		血液腫瘍カンファレンス		血液腫瘍カンファレンス		血液腫瘍カンファレンス		血液腫瘍カンファレンス		血液腫瘍カンファレンス	
中央病理診断診断書作成	検討症例があれば適宜				検討症例があれば適宜				検討症例があれば適宜			
病理診断科内カンファレンス	毎週金曜15時から											
日常診断(腫瘍以外の小児周産期病理)	切りだし、診断											